

4F男子トイレ。壁掛け式の小便器により床の清掃性もアップ。開口部からの採光もよく明るい空間に。

学校トイレ事例

01

[改修]

東京都国分寺市 国分寺市立第二中学校

温水洗浄便座導入と全洋式化で トイレをリフレッシュ空間に

新しいトイレになって 集中力がアップ

「新しいトイレになって、授業にも集中できるようになりました」と語るのは、国分寺市立第二中学校の男子生徒です。改修前、トイレの前の教室ではにおいがひどく、授業に集中できなかったそうです。

かつて同校の副校長で、現校長の重松靖さんは、

「副校長時代は学校に来るとまずトイレの窓を開けて回った。それだけにおいがひどかった。今はきれいでにおいもなく生徒たちも喜んでいきます」と言います。

国分寺市は、市内全10校の小学校のトイレ改修を2017年度に終了。2018年度から5校ある中学校の改修に着手。1校目が第二中学校でした。

改修を担当した市の建設環境部の竹野祐子さんは、

「中学校生活は多忙で疲れている子もいます。ここ数年、市では子どもの数が増加し、校舎にはゆとりの空間が限られています。そんな中、トイレはリフレッ

シユできる空間にしたかった」と語ります。

そのため、壁には明るい植物柄のクロスを選択。荷物を置いて用を足せるようベンチも設置しました。スペースが確保できるトイレでは、洗面コーナーをアイランド型にし、十分なコミュニケーションが取れるようになりました。

また、床は木目調のシートを採用。検討の際は、防滑性を確認するため、床シートの実物を取り寄せて水をまき、滑らなどうかを試しました。

「学校のトイレづくりでは衛生面も重要。できるだけ非接触にしています」と市教育委員会の田中正英さん。

トイレの入り口は可能な限りドアレスにし、照明は人感センサーに。洗面器は自動水栓にし、男子トイレは自動洗浄の小便器を採用しました。

子どもたちのため トイレ改修を急いで

今回の改修では、基本的に大



4F男子トイレのブース。大便器にはすべて温水洗浄便座を設置。操作パネルは電池交換不要タイプのリモコンに。



第二中学校の生徒会のみなさん。「お母さんが『デパートのトイレみたい』と言っていた。新しいトイレになって、私も超うれしかったです!」と女子生徒。



4F女子トイレ。壁はメンテナンス性の高い化粧板や植物柄のクロス、床材は木目シート、洗面台はモザイクタイル。多様な素材が融合し、楽しい空間を演出。



「学校を楽しくする仕掛けの一つとしてトイレを作りたかった」と国分寺市建設環境部の竹野祐子さん。

1年生が使うトイレは未改修。新しいトイレに入った1年生女子は「早く(2年生になって)新しいトイレを使いたいです」



仕切りの上部を開けることで空間に奥行きを出している。左手の格子窓は、「今後、四季折々の植物をつたわせるなどとして活用してもらいたい」と竹野さん。



4Fトイレ入り口。ドアレスだが、クランクをつけてプライバシーに配慮。廊下側の壁にはすりガラスを設え、明かりを取り込むと同時に人の気配がわかるようにした。

便器は洋式化し、温水洗浄便座をつけました。

国分寺市内の小中学校は、

地区防災センター(避難場所、避難所、医療救護所、物資配布場所、情報伝達場所の機能を有する地域の拠点)に指定されています。

「災害時は避難所であっても入浴が困難になります。お尻だけでもシャワーを使っていたらいいと考えました」(建設環境部の廣瀬英治さん)

さらに改修を推進する

国分寺市の中学校

「子どもたちのために、老朽化しているトイレの改修は喫緊の課題です」と語るのは、市教育委員会の日高久善さんです。

国分寺市は、今回、国庫の「学校施設環境改善交付金(補助率3分の1)」と、東京都の「防災機能強化のための公立学校施設トイレ整備支援事業(補助率6分の1)」を活用して改修を実現しました。

残る中学校4校も3年以内には改修を終えたいそう。

国分寺市では、全中学校のトイレ改修の早期完了が期待されています。



1F女子トイレ。洗面台横にはベンチを設置。荷物を置いて手が洗えるので便利。



1Fには多機能トイレを設置。他のトイレとデザインを揃えて床は木目調に。



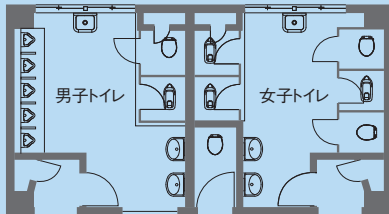
第二中学校 DATA



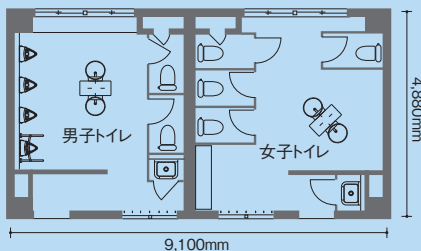
- 名称：国分寺市立第二中学校
- 所在地：東京都国分寺市本多1-2-17
- 生徒数：340名(2019年4月)
- 施主：国分寺市
- 設計・監理：竹松建築設計事務所
- 施工：タツミ建設
- 竣工年月：2018年8月

4F男女トイレ

改修前



改修後



全洋式化を実現。ももとの広い空間を生かし、アイランド型の洗面コーナーやベンチを作ったことにより、コミュニケーションが生まれ、リフレッシュできるゆとり空間が誕生した。



1Fトイレの入り口。クランクで仕切られているため中は見えないが、天井付近の壁を開けていることで開放的な雰囲気もある。

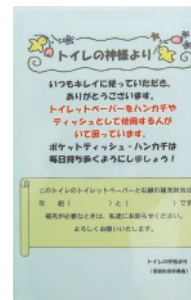


2F職員トイレ内。壁のクロス側は清掃性に配慮して床材を立ち上げている。

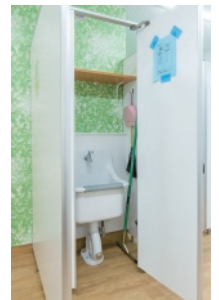
国分寺市立第二中学校の未改修トイレ (2019年度改修実施予定)



まだ改修の済んでいない西側1F女子トイレ(上)と、西側2F男子トイレ(下)。



保健給食委員の生徒がトイレットペーパーと石けんを管理。トイレ内の張り紙は「トイレの神様より」と書かれていてユニーク。



国分寺市の小中学校ではシルバー人材センターや専門業者が定期的に清掃を担当。普段は散らかっていれば、生徒が簡単に清掃する。